



令和7年5月21日に、あさひ小学校を会場として令和7年度第1回目の朝日地域学校運営協議会が開催されました。本会も5年目の船出となりました。

学校運営協議会は「地域子どもたちにどんな教育が必要かということ」を学校・家庭・地域がともに考える場で、地域とともにある学校づくりが進むとともに、より良い学校をつくることがより良い地域づくりにもつながるというねらいで行うもの」です。（年3回の開催予定）



このおたよりは、小中学校の全保護者の皆様には文書で、そして朝日地域及び朝日地域に関わる全ての方々の目にも届くよう、情報を発信するためのツールの一つとしてあさひ小・朝日中それぞれのHPに掲載するものです。

さて、今回は主に「各小中学校の学校経営について」「今年度の本会の活動について」協議する場といたしました。以下に議事録を掲載いたします。

なお、今年度の学校運営協議会長は、昨年度に引き続き、地域学校協働本部コーディネーターの蛸井由美子様、副会長には、朝日中PTA会長の井上舞様となりますことをご報告いたします。また令和6年度をもって、あさひ小PTA顧問 菅原邦義様、朝日芸術文化協会会長 渡部祐子様、人権擁護委員 佐藤雅秀様、元青少年育成推進委員 阿部努様、元社会教育指導員 安達一春様、東部自治振興会事務局長 渡部政治様がご退任。新たにあさひ小PTA会長 遠藤勇也様、朝日中PTA会長 井上舞様、てすねーた一支援員 小野寺美智子様、人権擁護委員 清野美智子様、かたくり荘施設長 小野寺幸則様、東部自治振興会事務局長 井上恵美子様、あさひ小 芳賀恵美校長、朝日中 會田健校長をお迎えし、鶴岡市教育委員会より委嘱状が交付されました。尚、昨年度朝日中PTA顧問であった渡部純一様には、ジュニアランナースの代表として今年度も継続して委員になっていただいております。

【協議】

①令和7年度の学校経営について

- ・小中学校それぞれの学校経営方針等が承認されました。

あさひ小学校	学校教育目標：⑥かるく ⑥わやかで ⑥たむきな あさひっ子
朝日中学校	学校教育目標：「自立」「協働」「貢献」 たくましく・優しく・賢く 主体的に生きる朝日中生

- ・朝日ブロック 小中一貫教育について

②学校経営に関する質疑及び今年度の活動について



蛸井会長 朝日ブロックの小中一貫教育についても説明受けたが、朝日は何年も前から小中連携して取り組みを進めてきた地域だ。現在小学校は毎朝図書支援員の方が来ている。中学校は昨年度念願の除雪ボランティアを東部地区で実施できた。今後はまたさらに今より一歩進めて活動しましょう、ということだと思う。

山口弘美氏 除雪ボランティア実施まで3年かった。中学生の姿が気持ち良かった。地元の方々も手伝



ってくれると良かったが残念。昨年度の年度末に朝日中の前校長が6年生に授業をした。児童がとても喜んだ。今年度も…。あさひ小の目指す学校の最後に教職員が勤務したくなる学校とはどんな学校か⇒**芳賀校長** 先生方のモチベーションや意欲が湧く学校をイメージして欲しい。この学校のために今日も頑張るぞ！と思える学校だと思う。

井上恵美子氏 学校に入るととてもあたたかい雰囲気、昔と変わらないと感じた。みんなで子どもを見守る。地域の子どもは私たちの宝。

渡部純一氏 駅伝。先生が声をかけられなければ私から声をかけたい。集め方を工夫して地域でも声をかけたい。PTAの活動もどうやって声をかけるかが大事だと思う。

佐藤利浩氏 駅伝は我々の時代は先生から出れよと言われて出ていた。今の時代は必ず上位を目指せというのではなく、その意義を子ども達に教え伝えていくことが大事。

蛸井会長 学校行事でも地域の人と関わることで学ぶことも多く、朝日だから育ってきたところがある。口出しにくいところもあるが、PTAも同じでやってしまえばつながれる場面が多いので、地域の人をどう巻き込むかが課題。

小野寺幸則氏 学校、子ども、地域、お互いの理解不足があり、つなががうまくいかない面がある。以前からこちらの施設と小中学校と職場体験などで交流はある。今後も地域に出ていきたい。

小野寺美智子氏 朝週2回30分程度、図書貸出で関わっている。そんなに個別に話すわけではないが、あいさつ1つでも身につけている子といない子の個人差が大きい。

清野美智子氏 今日ここに来るとき、玄関に入って場所を聞いたらスーッといなくなってしまった。人権教育（車椅子バス）を行いたいが、教育課程のことを考えるとどの時期に学校に相談すればいいか悩む。

蛸井会長 今年度の第2回学校運営協議会は、地域語り合いにこの委員の皆さんに参加していただく形で実施する予定だ。ぜひ皆さんに参加してもらい、子どもたちの考えていることを聞き、一緒に考えてつながって欲しいと思う。

後藤誠氏 保育園は60名切っている。今後1クラス20人というのではない。2024年鶴岡市の出生数504。2023年は614。減り方が激しい。2月5日の朝日新聞、取水町で小学校と中学校でふるさと学習、学ぶことで定住意識を高める。朝日でもふるさと学習を取り入れてはどうか。昨年度中学校1年生が家庭科の授業で初めて保育体験を行った。とても良かった。男性の家事参加意識も今後大事になる。

齋藤健一氏 地域人材と豊かな自然環境を活かすためにもつなぐ役割が大切。語り部さんが機会あれば子どもたちに話す機会を。新庁舎に多目的スペースがあり勉強できる。年中無休で使えるので使ってほしい。愛着を持ってもらうために昨年度ネーミングを募集した。気軽に活用して欲しい。

蛸井会長 今年度は中学校に技家の先生がいないので、地域の人材の活用を。ここにいるメンバーが学校と地域をつなぐパイプ役となって活動していきましょう。

以上、議事録をもとにお伝えいたしました。なお、この会議はKCTより撮影いただきました。後日紹介があるかと思しますので、詳しくはそちらもご覧下さい。

今後の本会の活動にご理解とご協力、よろしくお願いいたします。

